

学校教育目標

あかるく、思いやりのある子ども
かしこく、進んで学習する子ども
たくましく、根気強い子ども

篠木小

回覧

2月の充実した学習活動の様子です！

2日 市民議会

市議会議場にて、6年
八木岬さんとお父さんが、
「篠木小学校について」
「小岩地区のこれから」に
ついて、堂々と発表してく
ださいました。



14日 不審者対応訓練

学校に不審者が侵入したことを想定
した訓練を行いました。放送を合図に
教室後方扉に鍵をかけ、前方はバリケ
ードを作り、教師が対応します。子供た
ちは落ち着いて訓練できました。
写真は1年教室の様子です。

スキー教室

地域、保護者の皆様、指導へ
のご協力ありがとうございました。
楽しく活動し上達しました。



篠木神楽

6送会に向けて、5年生が
保存会の皆様のご指導を
受けて練習中！



篠木っ子の活躍

☆岩手県書写書道作品コンクール

〈毛筆の部〉

優秀賞 2年 菅原 徠煌

推薦 3年 相馬 美月

6年 土川 塔子

盛岡市長賞

4年 下佐 碧

4年 菅原 遼夢

5年 相馬 雪乃

〈硬筆の部〉

推薦 1年 田村 心寧

3年 武田 雄真

4年 金子 倅子

1年 細谷 柊

3年 槻館 みわ

5年 平林 拓巳

2年 菅原 徠煌

3年 土川 楓子

6年 土川 塔子

☆冬休み良書推薦運動読書感想文コンクール

入選 1年 細谷 柊 「いのちをおしえてくれる火のとおり」

☆「牛乳大好き」絵のコンクール

銅賞 5年 細谷 旬 「おいしい牛乳ありがとう」

☆第43回全国児童画コンクール

入選 2年 高橋 杏奈

4年 武田 昇馬

2年 中嶋 楓月

5年 澤下 遥希

3年 相馬 美月

12日 薬物乱用防止教室

6年生が、大麻使用等の薬
物使用の怖さを学びまし
た。今回は市保護司協議
会7名の方々においでいた
だき、実際に使用してしまっ
た人の様子のお話を聞か
せていただきました。「絶対
使用しない」と意識を高め
ていました。



篠木っ子プラン保護者アンケート結果

篠木っ子まなびプランと連動させて、保護者の皆様にアンケート調査を実施しました。ご協力ありがとうございました。以下がその結果となります。（表中の数字は％です）

4：よい 3：だいたいよい 2：あまりよくない 1：よくない ☆全回答数 161

アンケート項目	評 価			
	4	3	2	1
1 夜、次の時刻まで寝ている。(1,2年 9:00 3,4年 9:30 5,6年 10:00)	36	40	18	6
2 朝6：30までに起きている。	60	30	8	2
3 朝ごはんを食べてから登校している。	90	6	4	0
4 家族でお互いにあいさつを交わしている。まちがったときはあやまっている。	55	38	7	0
5 お手伝いを決めてつづけている。	17	37	39	7
6 脱いだ履き物をそろえている。	19	39	29	13
7 毎日、家庭学習をしている。(1,2年 30分 3,4年 40分 5,6年 60分)	43	35	17	4
8 前日に、学習用具をそろえている。	39	38	19	5
9 〈低学年〉おうちの人に、音読を聞いてもらっている。 〈中高学年〉毎日漢字や計算練習をしている。	41	36	19	4
10 進んで読書をしている。(目標冊数以上を目指して) (1,2年 80冊 3,4年 60冊 5,6年 40冊)	18	28	42	12
11 安全に気をつけ、歩いて登校している。	55	39	5	1
12 危険な遊びや行動をしていない。	69	30	1	0
13 夕食後、3分間ていねいに歯みがきをしている。	40	39	20	1
14 テレビやゲームの時間を決めて生活している。	23	35	33	9

○肯定回答が90％以上のものは、2, 3, 4, 11, 12の5項目でした。

起床時間、朝食に関しては、ご家庭で子供たちへの声掛けなどしっかりしてくださっている成果だと感じます。家族での挨拶がなされていることが、地域・学校であたたかい挨拶ができていることにつながっていると思います。児童の安全面へのご配慮にも感謝いたします。

●肯定回答が60％以下と低いものは、5, 6, 10, 14の4項目でした。

お手伝いや履き物をそろえることについては、学校でも折に触れて話したいと感じました。自分でできることに気づき、考え、行動することができ、さらに相手のことが考えられるようになれば人とかかわりもスムーズにできるはずです。

読書については、教職員・保護者アンケートでは「課題あり」という結果ですが、子供たちへのアンケートでは「学校での読書の評価」は高くなっています。家庭での読書の進め方の情報提供、保護者の皆様へ子供たちの学校での読書状況を伝えることも進めていきます。

ゲームの時間は子供たちへのアンケートでは「守っている」が8割でした。子供たちのメディアに対する言動が、しっかり保護者の皆様に伝わるよう、学校での継続的な働きかけを行います。